

授業科目名	保育実習指導Ⅱ	担当教員名	森下 真由美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	保育実習
必修・選択/単位数	選択 / 1単位 (15時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 後期 (3-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	保育実習Ⅰをもとに、保育所実習のより高次の課題等を学ぶ。		
到達目標	(1)保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 (2)実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 (3)保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 (4)保育士の専門性と職業倫理について理解する。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする		
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 『月刊 保育とカリキュラム』(ひかりのくに) 『よくわかる保育所実習』(創成社) 新聞記事等		
成績評価の方法	出席状況と授業の取り組み姿勢、提出物の内容等により総合的に評価		
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等	事前・事後学習については授業中に指示します。 質問等は毎時間の受講カードによってフィードバックを行う他、授業終了後に研究室で受け付けます。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	事前指導① 実習日誌の記入について 実習日誌記入方法の理解を深める	(1)	
第2回	事前指導② 設定保育指導案作成 秋の保育実践について考える 個別援助①	(2)	
第3回	事前指導③ 設定保育指導案(グループワーク) 個別援助②	(2)	
第4回	事前指導④ 設定保育指導案(グループワーク) 個別援助③	(2)	
第5回	事前指導⑤ 実習研究課題について 前回の実習より、それぞれの課題を明確にする 実習の意義、目的の確認、注意事項の確認	(1),(3),(4)	
第6回	事後指導① 保育所保育の特性を確認する 実習配属年齢別グループ討議を通して振り返る	(3),(4),(5)	
第7回	事後指導② 実習配属クラス別グループ発表 各保育所の保育実践より保育士の専門性について理解を深める	(3),(4),(5)	
第8回	事後指導③ 保育実習の総括 保育所保育において大切にしたいことまとめ 実習での学びを今後活かすには	(1),(4),(5)	